

地域の医療をサポートする情報誌

Caress press

カレスプレス - 愛と信頼の輪 -

2018
初夏号
No.29

CONTENTS

特集 カレス サッポロ 看護部特集

NEWS

新任医師のご紹介 他

TOPICS

平成 30 年度 入社式を行いました
新入職員オリエンテーションを開催

西村昭男先生 お別れの会

循環器専門病院として専門性の高い看護部教育の取り組みや
復職支援などの活動についてご紹介いたします。



——「愛と信頼の看護」を
チーム一丸で実践

北光記念病院
看護部長
坂口 信子

平成30年度は、診療報酬と介護報酬の同時改訂が行われ、
例年にも増して慌ただしいスタートとなりました。

当院の看護部では4月に14名の新入看護師・介護福祉士を迎え、10日間にわたる法人・院内・看護部の各オリエンテーションを踏まえて各部署に配属されました。新たな仲間を迎えた各部署のスタッフにとっても自分自身の新人

時代を思い出し、看護師としての原点に立ち返る機会になるのではないかと思います。

今年度の看護部では、①倫理性・専門性の高い看護師の育成により看護の質向上を図る。②時間外勤務時間の削減により職場環境の改善を強化する。③看護師のさらなる定着率向上に向けた活動を推進する——を目標として掲げています。特に職場環境改善においては、毎月第3金曜日を「ノー残業 day」として位置づけ、「5時ビタで帰るための働き方」をみんなで考えていく取り組みを新たに始めました。また、部署や職種の垣根を超えて「患者さまのために」でき得る最善の看護が実践できるよう、チーム力の強化を図っていきます。

歴史と実績のある循環器専門病院の看護師として、誇りをもって当看護部の理念である『愛と信頼の看護』を今年度もチーム一丸となって実践していきます。

循環器専門教育 Basic・Advance コースを実施

当院は循環器専門病院のため、入職する職員は「循環器を学びたい」「スキルアップしたい」という強い願望を持っています。その思いに応えるべく、「循環器専門病院の看護師として研鑽することを自らの責務として、能力の維持開発を支援する」ために平成29年度より循環器専門教育を開始しました。

この循環器専門教育は「Basic」と「Advance」2段階のプログラムとし、Basicは「循環器疾患を有する患者に関わる上で必要な基礎知識を理解し、看護ケアの根拠について考えられる」、Advanceは「①循環器疾患患者の病態をアセスメントできる

②予測を持った看護ケアの優先順位を考慮した上で実践できる」ことを目標としています。また、Basic修了者だけがAdvanceプログラムに参加する

ことができる仕組みとしました。

Basicプログラムでは、「循環器の基本的な解剖・生理と虚血・大動脈・弁疾患」「刺激伝導系・心電図」「心臓埋め込み型電気デバイス」の3つの単元をそれぞれ5～7回に分けて、研修を行いました。また「トピックス研修」として単元毎に医師からの講義も組み込みました。Basicプログラム全21回中、80%(18回)以上受講した人だけが年度末に「Basic修了認定試験」を受け、合格者には認定証とバッジが授与される予定です。

今年度からBasicに加え、Advanceプログラムが開始となります。Advanceプログラムは呼吸・代謝、心不全に関して、講義だけではなくグループディスカッションを取り入れながら行う予定です。



▲ TOPICS研修の様子



▲ Basicプログラム研修の様子

blankがあっても大丈夫!!

看護職復職支援講習会を実施しています

我が国では毎年約5万人が看護師（准看護師を含む）として新規に資格を取得しています。しかし、その一方で全国には未就業の潜在看護師が71万人もいるともいわれています（平成26年12月・厚生労働省資料）。

潜在看護師の中には、復職の意思はあっても年々高度化する医療の世界に戻ることに大きな不安があり、なかなか踏み切れないでいる方も多いのではないかと思います。



▲ オリエンテーションの様子

カレスサポートでは、全国でも随一の規模を誇るクリニカルシミュレーションセンターを持っています。その強みを生かして、北光記念病院では年2回の復職支援講習会を行っています。平成29年度は合わせて14名が参加し、約半数の方が復職を果たしています。

1万5千人以上不足しているといわれている看護師を一人でも多く確保し、医療現場における看護をさらに充実させていくためには、潜在看護師の復職は必須の課題となっています。不足を補うための当院の取り組みは小さな事かもしれませんが、大きな意義があることに誇りを持って、今後もこの活動を続けていきたいと思っています。



▲ 演習：安全確認動作に基づいた点滴施行

大好評企画!!

子供参観日 ～子供向けの職業体験を実施～

北光記念病院では平成29年8月8日、看護職員の子供たちを対象として「子供向けの職業体験 IN 北光 ～子供たちの参観日～」を開催しました。小学4年生から中学2年生の10名が参加し、院内見学をしながらのスタンブラリーや正しい手洗い体験、救急蘇生や車いす乗車なども体験しました。

この企画のメインである職業体験では、日頃お母さんが病院で行っている看護・介護と一緒に体験したほか、



▲ 心臓の音を聞いてみよう

中央材料室では器材などの消毒や滅菌のお仕事も体験してもらいました。

参加した子供たちからは、「お母さん、すごかった」「もっと家での仕事を手伝おうと思う」

などの感想が寄せられ、お母さんたちは「いつも協力してくれてありがとう」「あなたがいてくれるから、お仕事も頑張れるんだよ!」といった感謝のメッセージを贈っていました。



▲ 意識の無い人を助けよう（BLS体験）

参加したお母さんたちは、自身の子供の成長を感じることができたようで、涙と感動の中でイベントを終了することができました。「ママさんナース」が看護・介護の仕事を続けていくためには、家族の理解と協力が不可欠です。この日の体験によって、子供たちが医療の道を目指してくれることを願いつつ、今後も「子供参観日」を継続していきたいと考えております。

病院見学のお知らせ

第1回 7月31日(火) 第2回 8月7日(火) 第3回 9月8日(土)

※時間はいずれも10:30～12:00

参加希望の方は、希望日の3日前までにご連絡ください。

●北光記念病院 看護部 <http://www.hokko.or.jp/nurse/index.html>

北光記念病院

011-722-1133(代表)

看護部担当：坂口

受付 8:30～17:00

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番6号

看護部特集 時計台記念病院 編

シミュレーションを取り入れた看護教育や
専門性の高い看護師(リソースナース)の活動をご紹介します。



—— 患者様の希望の
光となる看護に進進

時計台記念病院
看護部長
根元 文栄

時計台記念病院の看護部では、看護の質向上を目的に様々な取り組みを行っています。看護部教育委員会ではシミュレーション教育を取り入れた研修に力を入れています。そのきっかけは、平成28年度に当法人のクリニカルシミュレーションセンターで開催された「シミュレーション教育指導者育成セミナー（講師・阿部幸恵先生）」でした。このセミナーを係長・主任2名が受講し、シミュレーション

教育の魅力と効果を実感したことが始まりです。

平成28年度から新人技術演習は、全てシミュレーション教育を取り入れたプログラムで行い、平成29年度は、係長・主任が中心となって新人技術演習に留まらず、現任教育もシミュレーション教育を取り入れた様々な研修を企画・実施しました。

研修を担当した係長、主任から「クリティカル・シンキングのための基本姿勢（目的は何かを常に意識する、自他に思考のクセがあることを前提に考える、問い続ける）の気づきやその訓練に繋がった、看護の視点の新たな気づきがあった」など、一人ひとりの大きな学びに繋がったとの声がありました。平成30年度も引き続き看護の質向上を目的に取り組を進めますが、この度は、新たな取り組みを開始する看護部教育委員会とリソースナース委員会の活動等についてご紹介させて頂きたいと思ひます。

リソースナースの取り組み



緩和ケア認定看護師
若井 直子

リソースナース委員会発足から2年が経ち、平成30年4月現在、がん看護専門看護師、皮膚排泄ケア認定看護師、緩和ケア認定看護師、感染管理認定看護師、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の5名で活動しています。活動内容としては、院内看護師の学習ニーズを把握するアンケートを実施し、それをもとに各専門分野の研修を行っています。今後は、さらに各部署のニーズや専門性に合わせ、ケアに活かせる勉強会を企画・実施していきたいと考えています。

また、院内でのコンサルテーションなどの活動を充実すべく、マニュアルの整備などの取り組みや、地域との連携にも力を入れ、同行訪問のシステムの構築に向けた活動を行って

います。同行訪問とは、訪問看護師と協働し、地域で療養している患者さま・ご家族を訪問して、一緒にケアを考えたり、指導したりすることで、患者さま・ご家族のよりよい生活を整える取り組みです。

これからも院内にとどまらず、地域の中でも看護の質向上に向けた活動をしていきます。

時計台記念病院 専門・認定看護師

- ★ がん看護専門看護師
- ★ 皮膚排泄ケア認定看護師
- ★ 感染管理認定看護師
- ★ 脳卒中リハビリテーション認定看護師

ホームページ【リソースナース紹介】

<http://www.tokeidaihosp.or.jp/ov-hp/department/nurse/resources.html>

看護教育の取り組み

新しい
取り組みを
ご紹介!!

時計台記念病院・時計台記念クリニック看護部教育委員会は、管理・監督者が中心となり研修の企画・運営・評価を担っています。『質の高い看護を実践できる能力を身につけ、自ら学ぶ姿勢を支援する』を理念として、平成29年度は「新人技術演習研修」「ラダー別研修」「経年別研修」「中途採用者研修」「看護補助者研修」「介護福祉士研修」など、全36研修を実施しました。研修後のアンケートでは研修参加者の満足度も高く、現場でも活かしているとの評価の声も聞かれています。



▲体系的な研修を企画

これまでも看護職員の成長段階にあわせて研修を企画し、実施してきましたが、今年度は看護職自らが個々の能力を開発し、維持・向上させ、自らのキャリアを形成する力を養うことを支援する目的で、研修をより体系的に整えることにしました。

今まで数々の研修を企画・実施・評価する中で、当院に必要な看護師の能力と一緒に働きたい看護師像について頻りに意見交換する機会があり、看護部教育委員で協議した結果、当院の看護師に必要な力を「5つの要素」にまとめました。そのうえで、この5つの要素を星型のモチーフで分かりやすく伝えようというアイデアが生まれました（図参照）。一人ひとりの看護師が5つの要素を自律的に高めて、きらきらと輝く看護師となり、その輝きの集まりがまばゆい星団のような看護チームになるという願いを込めました。私たち一人ひとりの輝きが病める方にとって希望の光となる願いも込められています。



▲シミュレーションによる演習

平成30年度、5つの要素のうちどの力を高める研修なのか分かるように色分けした研修要綱を配布する予定です。そうすることで、より自主的な研修へと意識を変化させていけると考えています。

★ ★ 看護師に必要な力を「5つの要素」 ★ ★ ★

主体的に学ぶ力を育てる

日々の看護実践、研修、看護研究等を通じて、自ら学び、自己の責任で目標達成に必要な能力の向上に取り組むことができる看護師を育てたい

互いに協働する力

患者・家族やメディカルスタッフとの信頼関係のもと、ニーズをとらえて個性の高い看護実践ができる看護師を育てたい



看護実践能力を育てる

あらゆる療養の場で、根拠に基づいた確かな判断、状況に応じた看護実践ができる看護師を育てたい

慈しみに満ちた豊かな感性を育てる

患者・家族のありのままを受け入れ、「生きる」を支える思いやりの心を育てたい

互いに学び合う

互いの個性を認め合い、個人の成長を醸成し、看護の喜びを共有できる心を育てたい

充実した
教育環境!!

シミュレーション教育～新人技術演習～

新人看護師の技術演習にシミュレーション教育を取り入れてから、今年で3年目となります。新人技術研修ガイドラインに沿った研修プログラムは、注射・点滴などの技術習得を目指した演習から、やがて看護ケアを導きだす思考プロセスや看護過程に必要な思考を学び看護ケアの優先順位を考えるという演習へとシフトしており、新人の成長に合うようなプログラムとなっています。

各演習には様々な部署から先輩看護師が「インストラクター」として指導に参加しています。「インストラクター」の役割は、①新人看護師の技術・思考の実際を知ることで、新人看護師を理解する ②積極的に指導・助言を行い、新人の理解を促す ③演習で行ったことが活かされていくよう、

自部署でのOJTを推し進める ④演習時の学習状況や思考の様子から、より新人の個別性に合った育成再考への機会とする ⑤新人の学ぶ姿勢や成長の様子を自部署で伝えることで、自部署での新人育成のムードメーカーとなるよう努めることです。実践を再現した多くの場面で先輩からアドバイスを受けることで、不安の解消や自信の獲得に繋がっています。



▲看護過程に必要な思考を学ぶ



▲注射・点滴などの技術習得

病院見学会&インターンシップのお知らせ

第6回 5月12日(土) 第7回 6月23日(土) 第8回 7月28日(土)

時間:インターンシップ13:00~15:00/病院見学15:00~16:00

参加希望の方は、希望日の前日までにご連絡ください。

●時計台記念病院 看護部 <http://www.tokeidaihosp.or.jp/ov-hp/department/nurse/index.html>

時計台記念病院

011-251-1221(代表)

看護部担当:根元

受付 8:30 ~ 17:00

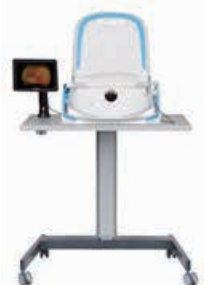
〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目

NEWS

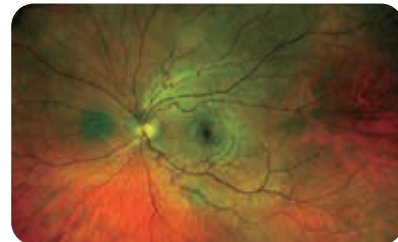
眼底検査機器「超広角走査レーザー検眼鏡Optos」を導入

―時計台記念病院
眼科・網膜硝子体センター

時計台記念病院・クリニックの眼科では、眼底検査機器である超広角走査レーザー検眼鏡Optos(オプトス)を導入しました。従来の眼底検査では、瞳孔を広げる目薬を点眼してから約30分間待たなければならず、検査後も眩しさや近くの文字が見えにくい状態が4時間近く続くため、しばらく車の運転ができませんでした。



今回導入した「Optos(オプトス)」は、画角200度の広範囲で撮影することができるため、点眼薬で瞳孔を広げなくても1回で網膜全体の撮影



▲オプトス撮影写真

ができます。これにより、車の運転のことを気にせず眼底検査が可能になり、眼底疾患を早期に発見することができるようになりました。

特に糖尿病や高血圧、高脂血症などの疾患をお持ちの方は、眼底に出血などの変化が生じ、視力の低下を招く恐れがあります。このような方は眼科で定期的な検査を受けられることをお勧めします。

時計台記念病院 眼科・網膜硝子体センター ホームページ：<http://www.tokeidaihosp.or.jp/center/oph/index.html>

NEWS

よつば家庭医療クリニック ホームページリニューアル

―よつば家庭医療クリニック

よつば家庭医療クリニックのホームページをリニューアルいたしました。

健康講座(よつばカフェ)などの情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



よつば家庭医療クリニック
<http://www.yotsubacl.jp/>

NEWS

Facebookページ 開設しました

―時計台記念病院・クリニック

時計台記念病院・クリニックの公式Facebookページを開設しました。

病院のお知らせやイベント情報など発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



時計台記念病院・時計台記念クリニック
Facebook：<https://www.facebook.com/879315228897373/>

NOTICE

介護職員初任者研修 ケアカレス 第4期受講生募集!!

―平成30年6月開講予定(夜間)

介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)は介護の仕事に就くための初めの一步となる資格です。

当法人が運営する「ケアカレス」の特徴は、①講師は現場で活躍している実践者②カリキュラムにシミュレーションセンターを利用した「実習」が行える③修了後1年間は知識や

技術のブラッシュアップができることです。

これから介護・福祉の仕事をしてみたい方、自宅での介護に役立てたい方、初任者研修をスタートラインとして介護現場でのキャリアを積みみたい方、介護について学んでみませんか?



第4期 研修期間

平成30年6月4日(月)～9月28日(金)

【曜日】月・水・金曜日(週3日) 【時間】18:00～21:15

介護職員初任者研修 ケアカレス



011-218-3337

ケアカレス 受講スケジュール：<http://www.caress-sapporo.jp/carecaress/schedule/schedule.html>

お気軽にお問い合わせください!

受付時間 8:30～17:00(平日のみ)

ホームページ



TOPICS

▶「平成 30 年度 入社式」を開催しました – 法人合同

当法人は 3 月 30 日（金）、「平成 30 年度 入社式」をカレス サッポロビルで開催しました。本年の入職者数は 54 名。そのうち 30 名が新卒です。

入社式では、まず当法人の出席者（理事長・理事・看護部長・事務部長）が紹介され、役員から新入職員へ向けてメッセージが贈られました。大城辰美理事長は「今日、新しい仲間として皆さんを受け入れることができました。カレス サッポロの未来を共に築いていきましょう」と述べ、激励しました。

その後、新入職員一人ひとりに記念品を贈呈すると共に、それぞれが自己紹介を披露。各自のスピーチからは緊張感がひしひしと伝わってきましたが、同時に当法人施設で働く希望と決意も



54名の新入職員を迎えました

感じられました。最後に、新入職員を代表して時計台記念病院 総合診療センターに配属になった中久保善敬センター長が御礼の言葉を述べ、記念撮影をして終了しました。



記念撮影を行いました

▶ 新入職員オリエンテーションを開催 – 法人各施設



北光記念病院の様子

当法人では 4 月 2 日から 11 日までの 8 日間、新入職員オリエンテーションを開催しました。本年は期間の前半を各施設研修、後半を法人合同研修としてプログラムを実施しました。各施設研修は、それぞれの施設の特色や施設職員として最低限度習得してほしい内容を学ぶ場となります。病院の特色を覚えるために、各部署の所属長が「部署紹介」という形で専門職ごとの役割を説明。本年度は診療報酬制度改定の年でもあるため、



時計台記念病院の様子

医事担当者が制度の基礎知識だけでなく、何が変わったかを解説する機会も設けました。

後半の法人合同研修では専門家を講師として迎え、接遇をはじめストレスマネジメントや労働契約の基礎知識など、今後社会人として働いていく上で必要なスキルを習得してもらう 4 日間としました。接遇は医療現場においても対人関係を円滑にするために必須な技術。お招きしたマナーコンサルタントの指導



介護老人保健施設 けあ・ばんけいの様子

の下、グループワークやロールプレイングを通して習得を目指しました。

最終日は急変対応などの医療現場のスキルを学んだ後、理事長講話会を開催。大城辰美理事長が当法人の未来について見通しを語りました。理事長の明るく前向きな話に、新入職員は時折笑顔を見せながら聴き入っておりました。

今回のオリエンテーションで得た知識を社会生活の基礎として役立ててもらい、共に成長していければと考えております。



接遇研修（施設合同）



感染研修（施設合同）



BLS研修（施設合同）

社会医療法人 社団 カレス サッポロ ホームページ：<http://www.caress-sapporo.jp/>

▶ 役職昇格者祝賀会・新入職員歓迎会を開催 – 法人合同

当法人では 4 月 11 日、ニューオータニイン札幌で役職昇格者祝賀会・新入職員歓迎会を開催しました。

はじめに大城辰美理事長が登壇し「今年の役職昇格者は、昇格試験に於いて好成績を収め大変優秀でした。そして今年度は明るく優秀な新入職員を迎えられ大変嬉しく思っています」などと挨拶。その後、役職昇格者 11 名が登壇し、1 人ずつ決意表明を行いま

した。そして櫻井正之専務理事の発声による乾杯で祝賀会・歓迎会が始まりました。

会半ばでは新入職員の紹介と共に、施設混合のチームを組み趣向を凝らした余興が行われました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後に本田耕一常務理事が音頭を取り、全員による「頑張るぞ〜！」の掛け声でお開きとなりました。役職昇格

者および新入職員の皆さんのこれからの活躍を期待しています。



役職昇格者祝賀会の様子

社会医療法人 社団 カレス サッポロ ホームページ：<http://www.caress-sapporo.jp/>

▶ 外出レクで下水道科学館を見学 – プレミアムガーデン

4 月 17 日、ご入居者さまを対象にした外出レクリエーションの一環として、北区にある札幌市下水道科学館を



札幌市下水道科学館を見学

訪れました。当日は天候にも恵まれ、参加者のみなさんは出発前から笑顔。見学を楽しみにしている様子が伺えました。

下水道は私たちの生活に深く関わりがあるインフラですが、その仕組みを知る機会には滅多にありません。この日は、体験コーナーなどを通して下水施設の仕組みや働きについて詳しく知る

ことができました。参加者の皆さんは熱心に見聞し、楽しい見学会となりました。

終了後には「また別の場所へ行きたい」とリクエストされるご入居者さまもいました。当施設がある地域には工場などの施設が多く、今後も社会見学レクリエーションを企画していきたいと思っています。

地域包括ケア拠点施設 カレスプレミアムガーデン ホームページ：<http://www.p-garden.jp/>

▶ ひな祭りレクリエーションを開催しました – 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

介護老人保健施設 けあ・ばんけいの通所リハビリテーションでは 3 か月に 1 度、行事を行っています。

3 月 2 日（金）の午後には「ひな祭りレクリエーション」を栄養課の協力のもと開催致しました。

今回は金曜日の利用者さまのみを対象としたものでしたが、15 時のおやつ時間に合わせて、ひな祭りにちなんだ唄を歌い、利用者さまにも打楽器な

どで演奏に参加して頂きました。

当日は、写真のように飾り付けと一緒に、おやつもケーキや桜餅など数種類を用意し、とても喜ばれました。

今後も利用者さまが「やってよかった、楽しかった」と思えるような企画を考えていきたいと思います。普段とは違うおやつを用意



お雛様と一緒に飾り付けしました

介護老人保健施設 けあ・ばんけい ホームページ：<http://www.carebankei.jp/>

社会医療法人 社団 カレス サッポロ 前理事長

故 西村 昭男 先生

お別れの会



社会医療法人社団カレスサッポロ前理事長・西村昭男先生(享年 87)——。

先生の「お別れの会」が 3 月 31 日午後、ホテルロイトン札幌で開かれ、参列した約 300 人が故人との別れを惜しまました。



西村昭男先生は 1978 年、北大医学部助教授の座を投げ打ち、室蘭に赴任。瀕死の状態だった日本製鋼所病院（当時）を立て直し、3 次救急までを担う全道トップクラスの医療機関に仕立て上げたことで知られています。その後は経営不安を抱える北光循環器病院（東区・北光記念病院）や時計台病院（中央区・時計台記念病院）の再編に力を注ぎ、次代における病院経営のあり方を実践の中で示し続けました。

2010 年 8 月にはカレス サッポロの理事長職を大城辰美氏に譲り、医療関係の公職も全て辞した西村先生。以後は、農業など異分野に挑戦し元気な姿を見せていましたが、近年は体調を崩すことが多くなり、さる 3 月 4 日午後、脳梗塞のため入院先の聖ヶ丘病院（社会医療法人慈恵会・虻田郡洞爺湖町）で逝去されました。

「お別れの会」では黙祷を全員で捧げた後、長瀬清氏

（北海道医師会会長）、中島保明氏（北大第一外科同門会長）、相澤孝夫氏（日本病院会会長）、實金清博氏（北大病院病院長）らが弔辞を読み上げ、西村先生の功績を讃えると同時に故人との思い出をそれぞれ披露。このほかにも親交が厚かった小林博氏（札幌がんセミナー理事長）ら 4 名が「贈る言葉」として心温まる話を参列者に紹介しました。

献花の後で参列者に謝辞を述べた大城理事長は、過去のエピソードを交えながら「西村先生の無茶ぶりにはしばしば悩まされました」と会場を笑わせつつ恩師の逝去を惜しまました。

西村先生が道内における地域医療の安定と質的向上に大きく貢献したことは、多くの関係者が認めるところです。今回、その“巨星”は墜ちましたが、先生が医療事業で掲げた「愛と信頼の輪」という理念は、今もカレスサッポロで生き続けています。

月刊誌「北方ジャーナル」公式ブログより転載



【基本理念】

原点から考えなおす保健・医療・福祉

～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～

社会医療法人社団 カレスサッポロ 関連施設のご案内

■ 法人本部

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
カレスサッポロビル8階

TEL 011-207-1331 FAX 011-207-2332

■ 北光記念病院

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番6号

TEL 011-722-1133 FAX 011-722-0501

【診療科目】

内科・循環器内科・心臓血管外科・消化器内科・放射線科

■ 北光記念クリニック

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番15号

TEL 011-722-1122 FAX 011-722-1212

【診療科目】

内科・循環器内科・放射線科・脳神経外科

■ 時計台記念病院

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・外科・糖尿病内科・腎臓内科
脳神経外科・形成外科・リウマチ科・婦人科・眼科
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

□通所リハビリテーション

■ 時計台記念クリニック

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-2221 FAX 011-251-2881

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・外科・糖尿病内科・腎臓内科
脳神経外科・形成外科・リウマチ科・婦人科・眼科・放射線科

■ 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

〒064-0945 札幌市中央区盤渓232-7

TEL 011-615-9623 FAX 011-615-2335

□介護老人保健施設

□短期入所療養介護

□通所リハビリテーション

□訪問リハビリテーション

■ クリニカルシミュレーションセンター

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
カレスサッポロビル7階

TEL 011-218-3337 FAX 011-218-3338

■ 札幌市中央区介護予防センター北一条

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
カレスサッポロビル8階

TEL 011-251-1340 FAX 011-231-5433

地域包括ケア拠点施設

カレス プレミアムガーデン

〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目1番1号

■ よつば家庭医療クリニック

TEL 011-722-7700 FAX 011-722-7733

【診療科目】

内科（総合診療）・小児科・緩和ケア内科

訪問診療も行っております

□通所リハビリテーション

□訪問リハビリテーション

□住宅型有料老人ホーム

カレスプレミアムガーデン

TEL 011-722-3330 FAX 011-722-2233

□居宅介護支援事業所 カレス介護相談センター

TEL 011-722-3335 FAX 011-722-2233

□カレス訪問看護ステーション

TEL 011-722-2522 FAX 011-722-2233

□カレスヘルパーステーション

TEL 011-722-2511 FAX 011-722-2233

□カレスデイサービスセンター

TEL 011-722-3337 FAX 011-722-2233

□カレス定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

TEL 011-722-3336 FAX 011-722-2233

カレス サッポロ

検索

<http://www.caress-sapporo.jp/>